

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和元年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立環境情報センター
指定管理者名	株式会社ウイツコミュニティ
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立環境情報センター条例
施設の設置目的	環境の保全及び創造に関する学習の推進並びに市民等が自主的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進を図る。
施設概要	開所日 平成18年4月1日 所在地 相模原市中央区富士見1-3-41 構造 鉄筋コンクリート造2階建て 敷地面積 2,393.29㎡(衛生研究所敷地含む) 延床面積 600㎡
施設所管課	環境経済局 環境共生部 環境政策課

2 管理実績

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計(人)	36,375	30,958	23,329	20,554	22,226		
利用料金合計(円)	719,850	650,472	678,375	617,956	545,792		
貸館率(%)	34	35	28	28	28		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	事業開催に伴う参加人数は、88%と前年の108%を下回ったが、成果指標を上回ることができた。ゴールデンウィークや夏休み期間中の子ども向けの事業は特に目標を大きく上回っており、需要をうまくとらえていると言える。事業実施結果を研究し、今後の事業展開に活かしていただきたい。

指標1

指標名(単位)	事業開催に伴う参加人数(単位%)
指標式と指標の説明	(「事業参加者数」÷「事業参加者目標人数」)×100

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(単位)	80%	80%	60%	65%	70%	75%	80%
実績値(単位)	158%	158%	158%	108%	88%		
達成度(%)	197.5%	197.5%	263.3%	166.2%	125.7%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>コロナウイルス感染症による施設休止の影響等により事業参加者数が減っているが、企画展を積極的に開催したりキッズコーナーを新設するなどの工夫をしており、施設への来館者は前年より増えている。</p> <p>全体的に前指定管理者が管理していた平成28年度以前より事業実績の数値が減少傾向であることと、平成29年度以降は貸館率や事業参加者数が横ばいなので、改善に向けて研究していただきたい。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
自然環境観察員制度事業 かんきょう学習セミナーの開催 (年3回以上)	通年	第1回 制度及び活動内容の説明、市民調査の意義について参加者数59名 / 第2回 平成30年度全体テーマ調査、令和元年度全体テーマ調査についての説明 参加者数59名 / 第3回 カワノギクの事例に学ぶ市民活動のヒント 参加者数17名 / 第4回 水生生物の同定勉強会 参加者数10名 / 第5回 水生生物の同定勉強会 参加者数10名	
こどもエコクラブ事業 市内交流会の開催(年2回以上)	8月	第1回 いのちの博物館見学 参加者4名 / 第2回 相模原にはどんなセミがいるんだろう 参加者3名 勧誘活動 ハロウィン・ランタン工作 新規獲得数19クラブ、68名	
事業協力者登録制度「エコネットの輪」事業	通年 (プログラム集は7月発行)	団体数77件、プログラム数95件、照会・仲介数17件。前年と比べ団体数は2団体増加、プログラム数の増減なし、紹介は3件減となりました。プログラム集 発行部数100部	
エコギャラリーの運営事業	通年	団体展示を2階 移設し、回遊しやすく見やすい状態に改善しました。企画展の回数を昨年より14回増やし、16回行いました。展示会来場記念として画集やカレンダー、花の種の配布を実施しました。 また、若年層の取り込みを狙い、キッズコーナーを新設しました。	
環境学習事業(年20回以上)	通年	小中学生対象の講座実施回数25回、参加者2,090人、成人対象の講座実施回数13回、参加者189人の合計38回開催し、2,279人が参加しました。昆虫の飼育を希望される方にスズムシやカブトムシの幼虫を配布しました。ラジオ広報等を減らした代わりに、ポスター掲示等の広報に努めました。	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>前年より満足度が0.7%上がり、達成度100.7%であり、評価基準に照らし合わせて評価Aとする。利用者満足度調査については、単純集計の結果だけでなく、利用者の分析を行い、今後の管理・運営に生かしていただきたい。また、利用者満足度調査の数値だけでなく、自由意見についても真摯に耳を傾けて可能な限り対応していただきたい。</p>

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和1年11月1日～令和1年11月30日 サンプル件数:162
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(%)	84.8	82.0	89.3	98.4	97.6		
実績値(%)	82.0	89.3	98.4	97.6	98.3		
達成度(%)	96.7%	108.9%	110.2%	99.2%	100.7%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
利用案内掲示物の改善	12月	利用案内掲示物から「〇〇しないでください」「してください」という上から目線の表現をなくし、利用者に対する感謝の気持ちを込めた表現としました。
事業参加者アンケートの実施	随時	講座事業の参加者を対象にアンケートを実施し、参加者が何で事業を知ったのかや満足度について調査を行いました。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	団体本体の経営状況に特段の課題はなく、施設の収支は本体事業収支、全体収支ともに黒字となっていることから、Sと評価する。

施設の収支概要		直近3年間について記載			（千円）
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（a）		25,583	25,524	25,766	
	指定管理料	24,799	24,791	25,044	
	利用料金収入	648	618	546	
	その他の収入	136	115	176	
支出（b）		25,614	24,227	22,664	
	人件費	15,468	18,933	16,295	
	本社管理経費	1,520	930	1,073	
	その他の支出	8,626	4,364	5,296	
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		-31	1,297	3,102	
自主事業収入（d）		0	0	0	
自主事業支出（e）		0	0	0	
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		0	0	0	
全体収支【(c)+(f)】		-31	1,297	3,102	
備考	職員の入れ替えに伴い、人件費が前年比で減少した。コロナウイルス感染症の影響による2月14日以降のキャンセルに伴う利用料金全額還付、3月2日～31日の貸室休止に伴い利用料金収入が減少した。				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年3月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	改善済	情報公開に関する規定を作成した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

企画展を前年より14回多く開催したり、情報コーナーを改装したことにより、陳腐化から脱して鮮度向上が実現できたと考えています。その成果として来館者数が前年比108%となっており、新型コロナウイルスの影響がなければ更に増加したと推測されます。次にこどもエコクラブ事業におきましては登録者数を68名、クラブ数を19クラブ増やすことができました。今年度得た、この成功事例を基に今後の勧誘活動が可能となりました。環境学習事業の成人向け講座は1回当りの参加者が12人から15人に増加し、利用者にとって魅力ある企画であったことが推測されます。

以上の通り、新規利用者や足の遠のいていた利用者も含め利用者を増加させることができたことを自己評価しています。

9 所管課意見

・エコギャラリーの展示企画を前年より14回増やし、展示来場者へ記念品の配布を行ったことや、情報コーナーを改装するなどの工夫を行いコロナ禍にありながらも前年度比で施設来館者を増やしたことは評価できる。

・平成30年度に大きく減ってしまっていたこどもエコクラブの登録者数を平成29年度並みに戻しているの、今後も魅力ある事業を実施して勧誘を積極的に行い、増やしていただきたい。

・現金の管理方法等、監査で指摘された事項について、改善がみられており、更に定期的な研修の実施など事務処理ミス防止に向けた取り組みを求める。

10 選考委員会意見

・利用者アンケートの年齢層を見ると60～80代が圧倒的に多いので、子育て世代等にも積極的にアンケートを取り、どの世代の人が何を目的に来ているのかを明確にしてより広い世代に利用してもらえるようにするためには何をすべきなのか、次の打つ手を明らかにするために分析を強化をしていただきたい。

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、これまで通りの事業だけではなく、WEBコンテンツ等の活用を強化し、全市的、全国的な情報発信を行っていただきたい。環境情報センターとしての役割をWEB上でも果たせるようになることでコロナ禍のなかであっても施設の重要性和魅力を高めていただきたい。

